

令和2年度第1回境港市スポーツ推進審議会 議事録

【開催日時】 令和2年6月29日（月）16:00～17:00

【会場】 境港市役所第1会議室

【出席者】 長谷川伸・拝藤みゆき・竹内健治・善波周・福留史朗・高木敏行・増岡茂・坂井敏明
築谷直人・田辺洋範（以上10名）

【欠席者】 なし

【事務局】 松本敏浩（教育長）・黒崎享（生涯学習課長）・竹内勝（生涯学習課文化体育係長）
酒井達矢（生涯学習課文化体育係主事）

《内容》

1. 開会

2. 教育長あいさつ

昨年実施した2019レーザー級世界選手権では、地域の方々にご協力をいただき、成功裡に終えることができた。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市内では小中学校の休業、施設の休館を余儀なくされた。今後、第2波、第3波の到来も予想されるが、スポーツを愛する方々に、より多く施設を利用していただきたいと考えている。

3. 報告事項

⇒事務局から、（1）令和元年度及び令和2年度保健体育費の主要事業（2）令和元年度体育施設の利用状況について説明。

（委員）スポーツ推進委員の活動の中で、ユニバーサルスポーツ（誰でも楽しめるスポーツ）の普及に取り組んでほしい。境港市内では、卓球バレーに熱心に取り組んでおられるが、境港市スポーツ協会の加盟団体としてこのような活動の団体があると、普及につながるのではないかと。

市民運動会は参加者が減少傾向にあるが、現在も1万人以上が参加しており、人口の3割以上が参加している。なお、鳥取市では市民体育祭を開催しているが、人口約18万人のうち、参加者は約2万人。境港市民の市民運動会への参加状況には感心しているが、今後も、地域が参加しやすく、見る人にとっても楽しい内容にすると、市民にとってスポーツがより身近に感じられると思う。

次に、地域総合型スポーツクラブについてだが、境港市内のクラブの中には、活動の一環として胃の検診に取り組むなど、健康づくりに貢献しているクラブもあると聞いている。行政としても、ぜひ、このようなクラブを積極的に支援してほしい。

次に、境港市内にもスポーツ少年団があると思うが、子どものスポーツというと、教育委員会が関わることもあってか、どうしてもスポーツ分野として捉えてしまいがちだが、子育て支援の視点も加えて取り組んでほしい。なお、鳥根県邑南町は「日本一の子育て支援の町」を標榜しているが、その中で、子どものスポーツを子育て支援策として位置付けている。

4. 協議事項

⇒事務局から、境港市スポーツ推進計画の概要（案）について説明。

（委員）スポーツ推進計画が作られることは素晴らしい。鳥取県内では、国・県の計画に合わせて策定が進められているが、現在、策定されたのは鳥取市・米子市・伯耆町に留まっている。なお、鳥取県の推進計画はかなり突っ込んだ計画となっており、内容について県外からも問い合わせが来ている。計画の策定にあたっては、働き盛りや高齢者などの年代のスポーツの推進、スポーツによる地域活性化などについて議論をしてもらいたい。

（委員）同計画のうち、子どものスポーツの推進の項目には高校生も対象者に含んでおいてほしい。卓球バレー・ボッチャは、誰でもできるスポーツとして、また、障がい者スポーツ推進の一環としてもぜひ盛り込んでほしい。

5. 意見交換

（委員）卓球バレーの活動に携わっているが、子どもでも出来るので、ぜひ境港でも取り組んでほしい。

（委員）ニュースポーツ普及の取り組みとして、各地区でボッチャに取り組んでいる。スポーツ推進委員がルールを覚えるため、この秋には審判講習を予定している。ただ、正式ルールは難しいので、普及させるためには境港に合ったルールが良いと考えている。

6. 閉会